

Nintendo Switch、国内累計 2000 万台を突破！

歴代ソフト売上トップは累計 678 万本の「あつまれ どうぶつの森」。

ゲーム総合情報メディア「ファミ通」は、任天堂が2017年3月3日に発売したゲーム機「Nintendo Switch」（以下、ニンテンドースイッチ）の国内推定累計販売台数を以下の通りまとめました。

■「ニンテンドースイッチ」国内推定累計販売台数

（集計期間：2017年3月3日～2021年5月30日／販売週数：222週）

国内推定累計販売台数： 20,018,278 台

<内訳>

Nintendo Switch： 16,168,420 台

Nintendo Switch Lite： 3,849,858 台

【ニンテンドースイッチ向けソフト 国内推定累計販売本数 TOP5】

（集計期間：各発売日～2021年5月23日 ※1週間までの集計）

単位：本

順位	タイトル名	メーカー	発売日	推定累計販売本数
1	あつまれ どうぶつの森	任天堂	2020/3/20	6,778,146
2	大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL	任天堂	2018/12/7	4,285,272
3	ポケットモンスター ソード・シールド	ポケモン	2019/11/15	4,052,668
4	スプラトゥーン 2	任天堂	2017/7/21	3,868,221
5	マリオカート 8 デラックス	任天堂	2017/4/28	3,844,200

※出典：ファミ通

今回の速報について

任天堂のゲーム機「ニンテンドースイッチ」（2017年3月3日発売）は、発売から222週（約4年3カ月）で国内累計販売台数2000万台を突破しました。

また、ニンテンドースイッチ向けのパッケージソフトでは、「あつまれ どうぶつの森」（任天堂／2020年3月20日発売）が677.8万本※を売り上げ、累計販売本数トップとなっています。

今後、「ポケットモンスター ブリリアントダイヤモンド・シャイニングパール」（ポケモン／2021年11月19日発売予定）や「スプラトゥーン 3」（任天堂／2022年発売予定）といった人気タイトルの発売も控えており、さらなる販売台数の伸びが期待されます。

※ソフトの累計販売本数は2021年5月23日まで、パッケージ版のみの集計となっております。（ニンテンドースイッチの累計販売台数は2021年5月30日までの集計。）

※本データを記事などに使用する場合は、出典が「ファミ通」である事の明記をお願いします。
※本調査データは、KADOKAWA グループのシンクタンクである角川アスキー総合研究所が調査し、KADOKAWA Game Linkage に提供しています。

◆ファミ通について



ファミ通グループでは、ゲーム総合誌「週刊ファミ通」(毎週木曜日発売)をはじめとするファミ通各誌、「ファミ通.com」や「ファミ通 App」といったゲーム情報サイトなど、様々なサービスを展開しています。また、電子出版事業にも積極的に取り組み、「週刊ファミ通」電子版や、ゲーム攻略本・設定資料集の電子書籍を多数配信しています。

<https://www.famitsu.com/>

◆株式会社 KADOKAWA Game Linkage について



株式会社 KADOKAWA Game Linkage(代表取締役社長:豊島 秀介)は、株式会社 KADOKAWA の 100%子会社です。『ファミ通』『ゲームの電撃』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Web サービス運営、動画配信といったゲームメディア事業を展開しています。そのほかイベント企画や e スポーツマネジメントなど、ゲームにまつわるあらゆる分野で新しい価値の創出に挑戦。ゲームとユーザーの熱量を高め、ゲームの面白さや楽しさをさらに広げてまいります。

公式サイト URL: <https://kadokawagamelinkage.jp>

◆株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所

KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.

角川アスキー総合研究所は、KADOKAWA グループに属する法人向けのシンクタンク、リサーチ・メディア企業です。KADOKAWA グループの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力に関する技術力を活かし、日本のメディア・コンテンツ産業に貢献すべく、課題となる重要テーマに日々取り組んでいます。

公式サイト URL: <http://www.lab-kadokawa.com>